

# SAGA建設技術フェア2018

## 開催報告書



本報告書は、平成30年6月13日(水)～14日(木)にかけてマリトピアで開催した「SAGA建設技術フェア2018」の実施内容およびアンケート調査結果等についてとりまとめたものです。

平成30年12月

公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

## 目次

1. フェアの概要 .....	1
2. 出展者 .....	2
2.1 出展者一覧表（49 団体） .....	2
2.2 会場配置 .....	3
2.3 会場のようす .....	4
3. 来場者 .....	5
3.1 来場者数 .....	5
3.2 来場時間帯 .....	6
4. 実施内容 .....	7
4.1 ポスター及びチラシ .....	7
4.2 開催プログラム .....	8
4.3 開会式 .....	10
4.4 特別講演 .....	11
4.5 女性技術者講演 .....	12
4.6 技術発表 .....	13
4.8 パネル展示 .....	14
4.9 閉会式 .....	14
4.10 受講証明書の配布 .....	15
5. アンケート結果 .....	16
5.1 来場者アンケート .....	16
5.2 出展者アンケート .....	23
6. まとめ .....	27

## 1. フェアの概要

主 催	公益財団法人佐賀県建設技術支援機構
共 催	佐賀県／佐賀大学／一般社団法人佐賀県県土づくりコンサルタント協会／ 一般社団法人佐賀県建設業協会／一般社団法人佐賀県建築士会／特定非営 利活動法人技術交流フォーラム
後 援	国土交通省九州地方整備局／佐賀県教育委員会／佐賀市／一般社団法人佐 賀県地質調査業協会／佐賀県土木施工管理技士会／一般社団法人佐賀県建 築士事務所協会／低平地研究会／公益社団法人土木学会西部支部／公益社 団法人地盤工学会九州支部／公益社団法人日本技術士会九州本部／NHK 佐 賀放送局／サガテレビ／佐賀新聞社／建設新聞社
日 時	【1日目】平成30年6月13日（水）10:00～16:00 【2日目】平成30年6月14日（木）10:00～16:00
場 所	マリトピア（佐賀市新栄東3丁目7番8号）
目 的	建設分野（土木・建築）の技術・工法・製品などについて、産・学・官にお ける技術情報の交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るこ とで建設産業の発展に寄与するとともに、学生・一般の方々に建設業界の魅 力や社会資本整備の必要性を認識してもらうことを目的とする。
テ ー マ	豊かで安全な暮らしを支える建設技術
内 容	技術展示ブース 特別講演 女性技術者講演 技術発表 パネル展示
出展テーマ	環境／防災／コスト削減／維持管理／ICT／佐賀の技術
来 場 者	総数 2,003名（2日間延べ） 【内訳】 官公庁 148名 コンサルタント 311名 建設業 865名 一般 80名 学生 316名 ブース関係者 283名

## 2. 出展者

### 2.1 出展者一覧表（49 団体）

49 の企業・団体からブースを出展していただきました。県内の企業・団体からの出展は 25 ブースでした。

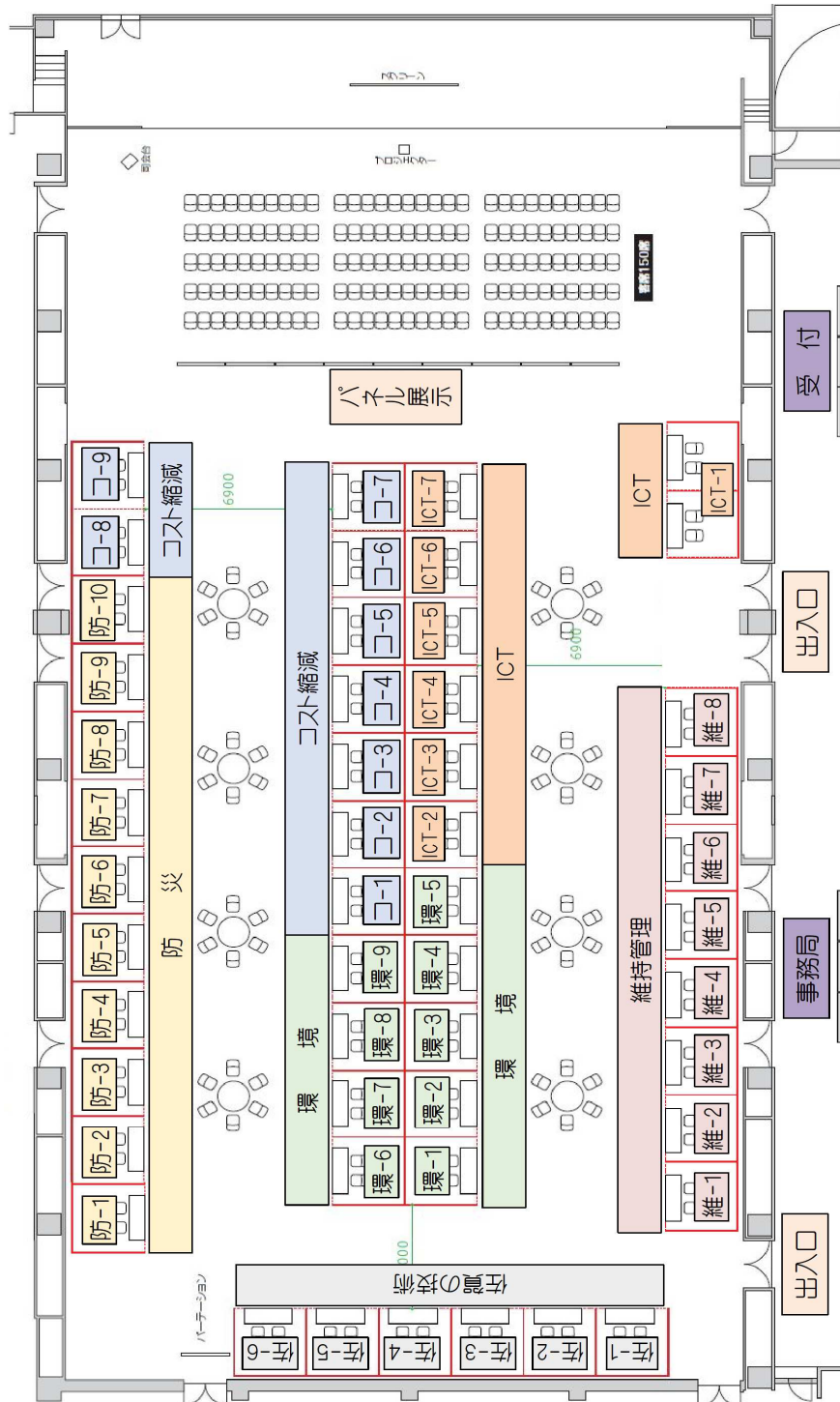
【出展者一覧（49 団体）】

分類	番号	企業・団体名
環 境	環-1	日本乾溜工業 株式会社 佐賀支店
	環-2	日本建設技術 株式会社
	環-3	株式会社 アマケンテック
	環-4	森田建設 株式会社
	環-5	高原木材 株式会社
	環-6	福井木材 株式会社
	環-7	大石建設 株式会社
	環-8	一般社団法人 有明未利用熱利用促進研究会
	環-9	不二コンクリート工業 株式会社
防 災	防-1	東亜建設技術 株式会社 佐賀営業所
	防-2	君岡鉄工 株式会社
	防-3	株式会社 神戸製鋼所
	防-4	株式会社 ヤマックス
	防-5	鳥栖砕石 有限会社 二次製品工場
	防-6	株式会社 島内エンジニア
	防-7	株式会社 仙台銘板
	防-8	アジア航測 株式会社 福岡支店
	防-9	ハイジュールネット工法研究会
	防-10	日鐵住金建材 株式会社
コスト削減	コ-1	新日鐵住金 株式会社
	コ-2	西日本鋼業 株式会社
	コ-3	ボゾリスソリューションズ 株式会社 /国際企業 株式会社
	コ-4	Fe石灰技術研究所
	コ-5	エボコラム協会
	コ-6	協同組合Masters 地盤環境事業部会 土留部材引抜同時充填工法研究会
	コ-7	佐賀県のリフレッシュ工法協会
	コ-8	株式会社 ヤマウ 佐賀営業部
	コ-9	国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所
維持管理	維-1	麻生グループ
	維-2	大同塗料 株式会社 福岡営業所
	維-3	一般社団法人 NME研究所
	維-4	精密舎 株式会社
	維-5	株式会社 エスティテクノロジー
	維-6	日特建設 株式会社 佐賀営業所
	維-7	山王 株式会社
	維-8	株式会社 エスイー
ICT	ICT-1	株式会社 プロダクションナップ
	ICT-2	株式会社 ソアー
	ICT-3	株式会社 ワイビーエム
	ICT-4	株式会社 ソーシャル・キャピタル・デザイン
	ICT-5	株式会社 コイシ
	ICT-6	国際技術コンサルタント 株式会社
	ICT-7	九州電カグループ 西日本技術開発 株式会社 佐賀営業所
佐賀の技術	佐-1	株式会社 セリタ建設
	佐-2	日之出水道機器 株式会社 九州営業所
	佐-3	GIコラム研究会
	佐-4	フローティング基礎研究会
	佐-5	一般社団法人 佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
	佐-6	佐賀大学インフラ構造物長寿命化研究所

## 2.2 会場配置

会場配置は、入口付近に受付/事務局、会場入って右側にステージ、残り 2/3 に出展ブースを設けました。

【会場配置図】

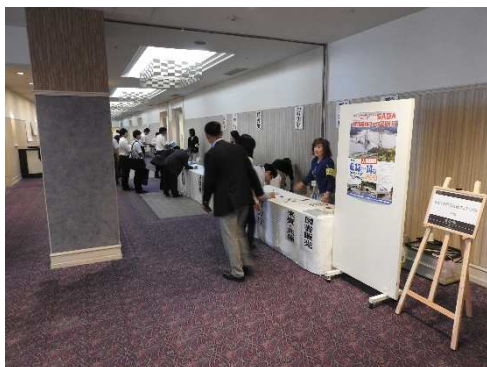


## 2.3 会場のようす

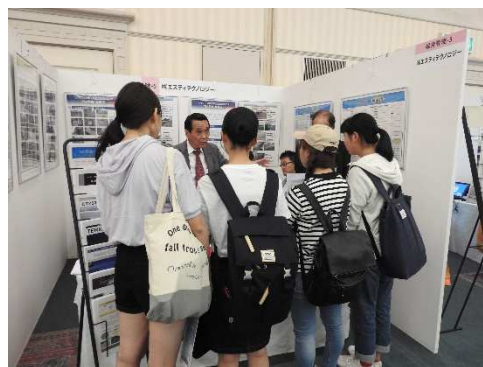
### 【全 景】



### 【受 付】



### 【出展ブース】



### 【ステージ】



### 3. 来場者

#### 3.1 来場者数

2日間で総計2,003名の方にご来場いただきました。建設業の来場者が最も多く、次いでコンサルタントが多い結果となりました。

【来場者集計表】

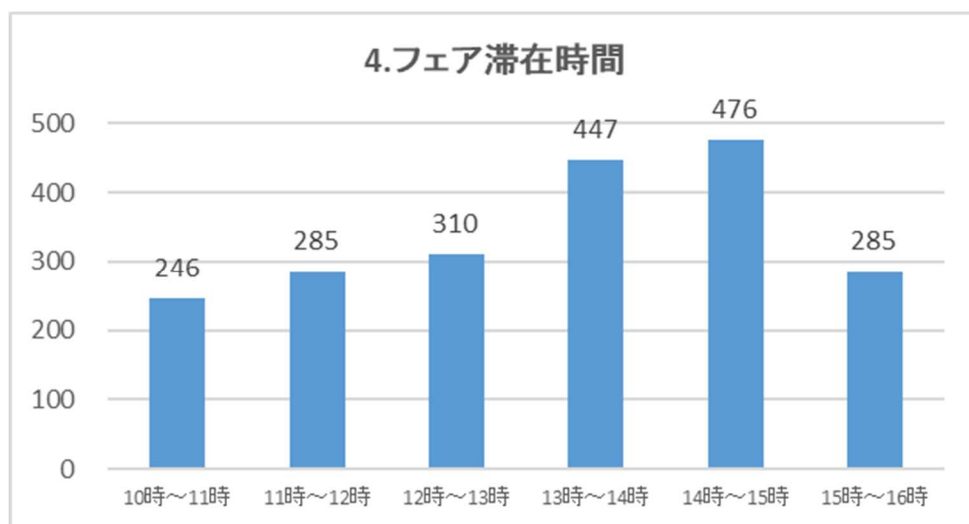
(単位：人)

		6/13(水)	6/14(木)	小計
①官公庁	男性	56	65	121
	女性	12	15	27
	小計	68	80	148
②コンサルタント	男性	143	139	282
	女性	10	19	29
	小計	153	158	311
③建設業	男性	403	410	813
	女性	22	30	52
	小計	425	440	865
④一般	男性	33	42	75
	女性	1	4	5
	小計	34	46	80
⑤学校	高校 /大学	188	128	316
	小計	188	128	316
⑥ブース関係者	男性	134	134	268
	女性	7	8	15
	小計	141	142	283
合計		1009	994	2003

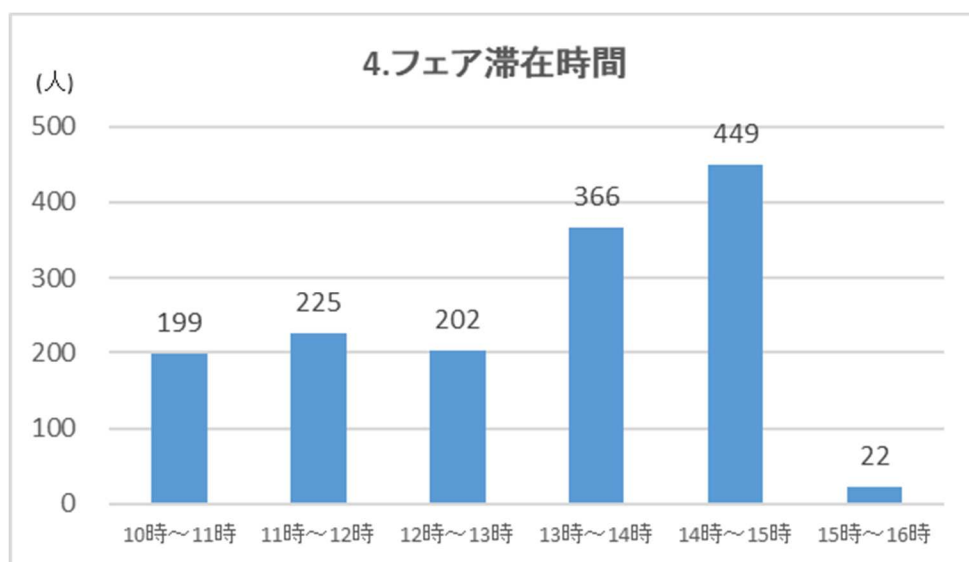
### 3.2 来場時間帯

来場者へのアンケート結果を参考に整理した来場時間帯は、午前と午後ともに、時間が経つにつれて滞在人数が増える傾向にあるようです。

【来場時間帯】



(1日目)



(2日目)



## 4. 実施内容

### 4.1 ポスター及びチラシ

フェアの開催を広く周知するため、ポスターおよびチラシを作成し、区市町や関係団体等に配布しました。

【ポスター及びチラシ】



(ポスター／チラシ表)



(チラシ裏)

## 4.2 開催プログラム

1日目は開会式、特別講演、技術発表11件、2日目は特別講演、女性技術者講演、技術発表8件、閉会式を行いました。

### 6月13日(水)《1日目》

時間	内容	
10:00～10:15	開会式	主催者挨拶
		来賓挨拶
		テープカット
10:15～12:00	技術発表(1) 各15分	①【コ-1】新日鐵住金(株) 「施工性・経済性に優れたハット形鋼矢板の提案」
		②【コ-3】ポリリスソリューションズ(株)/国際企業(株) 「コンクリート構造物の新設から長寿命化まで、最適な材料のご提案」
		③【コ-5】エポコラム協会 「エポコラム工法-コスト縮減・工期短縮可能な深層混合処理工法-」
		④【コ-6】協同組合Masters 地盤環境事業部会 土留部材引抜同時充填工法研究会 「土留部材を周辺地盤に影響少なく引抜く唯一の特許工法」
		⑤【コ-8】(株)ヤマウ 佐賀営業部 「トータルコスト削減を可能にしたプレキャスト製品」
13:00～14:00	特別講演(1)	「明治維新150年記念講演 SAGAをささえる建設技術」  佐賀県 県土整備部 副部長 王丸 義明 氏
14:00～16:00	技術発表(2) 各15分	⑥【環-4】森田建設(株) 「アルミ合金を活用したシステム型枠 工期短縮を可能にするALSP <sup>2</sup> 工法」
		⑦【環-6】福井木材(株) 「地場産木材の活用拡大及び、保護」
		⑧【環-7】大石建設(株) 「【海底の掃除機】サブマリנקリーナー(SMC)工法」
		⑨【環-8】(一社)有明未利用熱利用促進研究会 「環境に優しい未利用熱利用を普及促進し、生活環境の向上に 寄与します」
		⑩【防-2】君岡鉄工(株) 「災害復旧時に役立つ、打ち込むだけの基礎工法「くい丸」」
		⑪【防-4】(株)ヤマックス 「ヤマックス式プレキャスト製品～多分割組立式加ハット工法～」
～16:00	1日目閉会	

ブ  
ー  
ス  
展  
示

6月14日(木)《2日目》

時間	内容	
10:00～	2日目開会	
10:00～12:00	技術発表(3) 各15分	⑫【佐-1】(株)セリタ建設 「見えない地盤内の品質を確保する「地盤改良の見える化」を実現」
		⑬【佐-2】日之出水道機器(株)九州営業所 「橋梁ジョイントとグレーチングの長寿命化・安全性・施工性・維持管理性の向上」
		⑭【佐-4】フローティング基礎研究会 「軟弱地盤上の道路工法、沈下・振動対策、トータルソリューション」
		⑮【佐-6】佐賀大学インフラ構造物長寿命化研究所 「世界に通じる学術研究で地域社会に貢献」
		⑯【維-3】(一社)NME研究所 「小規模橋梁を対象とした吊り足場「ブリッジハンガー」」
13:00～14:00	特別講演(2)	「近年の集中豪雨による地盤災害とその教訓 -繰返される災害に備える-」  九州大学大学院 教授 安福 規之 氏
14:00～14:45	女性技術者講演	「女性技術者から見た建設コンサルタントの魅力」  (一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会 朝日テクノ(株) 白木 麻美 氏 (株)建匠コンサルタント 宮崎 結月 氏 新九州測量設計(株) 吉田 加奈子 氏
14:45～15:50	技術発表(4) 各15分	⑰【維-6】日特建設(株)佐賀営業所 「港湾・漁港施設の補修・補強技術～注入・アンカー技術～」
		⑱【ICT-2】(株)ソアー 「i-ConとCIMとICT活用工事の対処方法」
		⑲【ICT-3】(株)ワイビーエム 「Y-LINK(全自動施工管理制御システム)」
15:50～16:00	閉会式	主催者挨拶



ブ  
ー  
ス  
展  
示



### 4.3 開会式

ステージにて開会式を執り行いました。共催や後援の皆様方にもご列席いただき、主催者挨拶、来賓挨拶、テープカットが行われました。

【主催者挨拶(支援機構 西村理事長)】 【来賓挨拶(武雄河川事務副所長 田中 満昭 氏)】



【来賓・共催者によるテープカット】



(テープカット写真 左から)

特定非営利活動法人技術交流フォーラム  
一般社団法人佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会  
佐賀県 県土整備部  
公益財団法人佐賀県建設技術支援機構  
国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所  
一般社団法人佐賀県建設業協会  
一般社団法人佐賀県建築士会

理事長	小野 龍太 氏
副会長	福島 裕充 氏
副部長	王丸 義明 氏
理事長	西村 平
副所長	田中 満昭 氏
副会長	牟田 正明 氏
常務理事	山口 美由起 氏

#### 4.4 特別講演

1 日目は、佐賀県 県土整備部 副部長 王丸 義明 氏に「明治維新 150 年記念講演 SAGA をささえる建設技術」と題してご講演いただきました。

2 日目は、九州大学大学院 教授 安福 規之 氏に「近年の集中豪雨による地盤災害とその教訓～繰返される災害に備える～」と題してご講演いただきました。

【佐賀県 県土整備部 副部長 王丸氏による講演のようす】



【九州大学大学院 教授 安福氏による講演のようす】



#### 4.5 女性技術者講演

建設業界での女性の一層の活躍に寄与することを目的として、女性技術者講演を2日目に行いました。講演では、朝日テクノ（株）白木 麻美 氏、（株）建匠コンサルタント 宮崎 結月 氏、新九州測量設計（株）吉田 加奈子 氏に「女性技術者から見た建設コンサルタントの魅力」と題してご講演いただきました。

【白木氏・吉田氏・宮崎氏による講演のようす】



#### 4.6 技術発表

希望する 19 のブース出展者による技術発表をステージにて行いました。1 出展者あたりの発表時間は 15 分で各技術や製品などについて発表がありました。

【技術発表者一覧表】

分類	No.	企業・団体名	発表者内容
【コ-1】	1	新日鐵住金(株)	施工性・経済性に優れたハット形鋼矢板の提案
【コ-3】	2	ポポリスソリューションズ(株)/国際企業(株)	コンクリート構造物の新設から長寿命化まで、最適な材料のご提案
【コ-5】	3	エポコラム協会	エポコラム工法 -コスト縮減・工期短縮可能な深層混合処理工法-
【コ-6】	4	協同組合Masters 地盤環境事業部会 土留部材引抜同時充填工法研究会	土留部材を周辺地盤に影響少なく引抜く 唯一の特許工法
【コ-8】	5	(株)ヤマウ 佐賀営業部	トータルコスト削減を可能にしたプレキャスト製品
【環-4】	6	森田建設(株)	アルミ合金を活用したシステム型枠 工期短縮を可能にするALSP <sup>®</sup> 工法
【環-6】	7	福井木材(株)	地場産木材の活用拡大及び、保護
【環-7】	8	大石建設(株)	【海底の掃除機】サブマリנקリーナー(SMC)工法
【環-8】	9	(一社)有明未利用熱利用促進研究会	環境に優しい未利用熱利用を普及促進し、 生活環境の向上に寄与します
【防-2】	10	君岡鉄工(株)	災害復旧時に役立つ、打ち込むだけの基礎工法「くい丸」
【防-4】	11	(株)ヤマックス	ヤマックス式プレキャスト製品 ～多分割組立式カルバート工法～
【佐-1】	12	(株)セリタ建設	見えない地盤内の品質を確保する 「地盤改良の見える化」を実現
【佐-2】	13	日之出水道機器(株)九州営業所	橋梁ジョイントとグレーチングの長寿命化 ・安全性・施工性・維持管理性の向上
【佐-4】	14	フローティング基礎研究会	軟弱地盤上の道路工法、沈下・振動対策、 トータルコストミニマム
【佐-6】	15	佐賀大学インフラ構造物長寿命化研究所	世界に通じる学術研究で地域社会に貢献
【維-3】	16	(一社) NME研究所	小規模橋梁を対象とした吊り足場「ブリッジハンガー」
【維-6】	17	日特建設(株)佐賀営業所	港湾・漁港施設の補修・補強技術～注入・アンカー技術～
【ICT-2】	18	(株)ソアー	i-ConとCIMとICT活用工事の対処方法
【ICT-3】	19	(株)ワイビーエム	Y-LINK(全自動施工管理制御システム)

#### 【技術発表のようす】



#### 4.8 パネル展示

国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所と佐賀県のご協力により、新技術・新工法やストック効果などに関するパネルを展示しました。

#### 【パネル展示のようす】



#### 4.9 閉会式

当支援機構の西村理事長の閉会挨拶で2日間の幕を閉じました。

#### 【閉会挨拶】



#### 【閉会式のようす】





#### 4.10 受講証明書の配布

当フェアは一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会の運営する CPDS（継続学習制度）の学習プログラムとして認定を受けており、希望する来場者に受講証明書を発行しました。なお、CPDS のユニット数は両日とも 3 ユニットでした。

## 5. アンケート結果

### 5.1 来場者アンケート

来場者を対象にアンケート調査を行いました。

#### (1) 1日目

設問1) フェアの開催はどこで知ったか

職場内(学校内)からの案内が最も多くなりました。

設問2) 職業

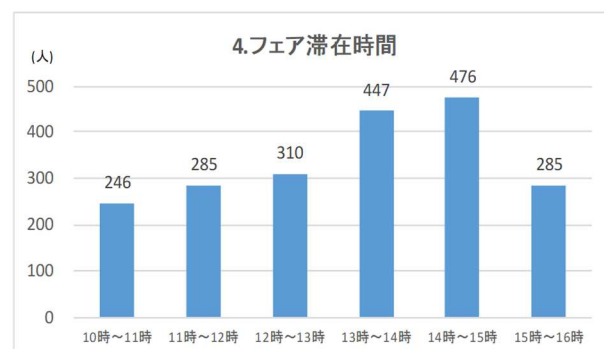
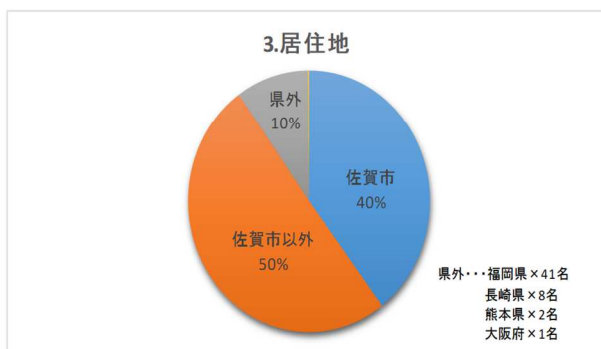
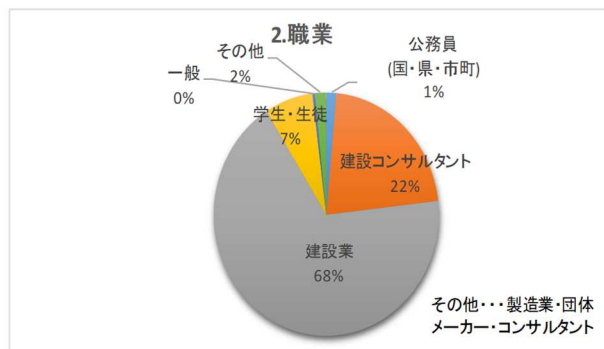
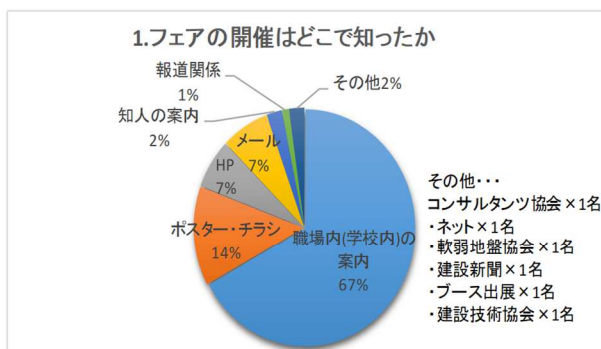
建設業が最も多く来場者の半数以上を占め、次いで建設コンサルタント(22%)となっています。

設問3) 居住地

佐賀県内からの来場者が90%、そのうち佐賀市以外が半数を占めています。

設問4) 滞在時間

午前と午後ともに、時間が経つにつれて滞在人数が増える傾向にあるようです。



設問 5) 来場目的

情報収集が最も多く 58%、次いで建設技術への興味が 38%となっています。

設問 6) 来場目的は達成できたか

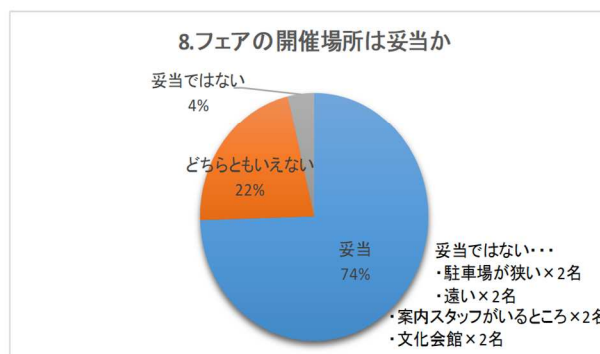
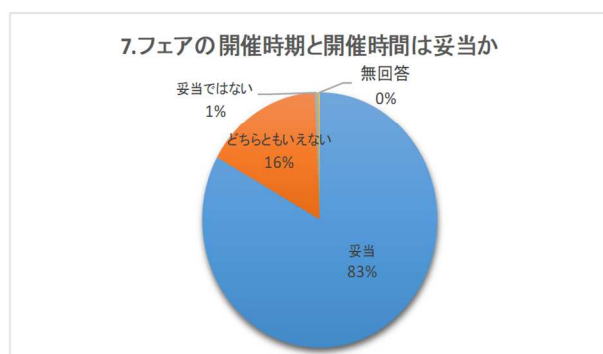
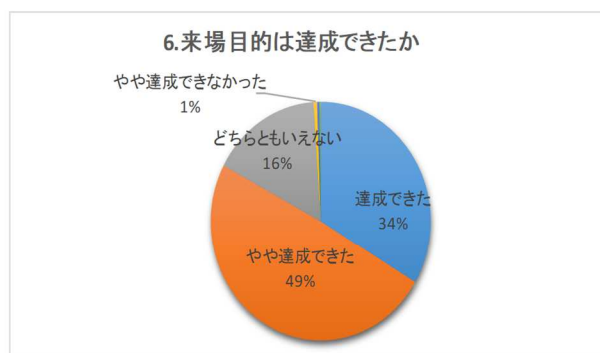
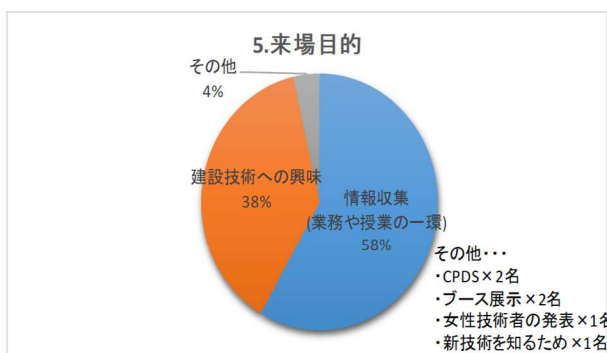
達成できたとやや達成できたを合計すると 83%となっています。

設問 7) 開催時期と開催時間は妥当か

妥当と回答した来場者は 83%となっています。

設問 8) 開催場所は妥当か

妥当という回答は 74%となっています。



設問 9) 毎年の開催を希望するか

希望するという回答は 83%となっています。

設問 10) 今回のフェアで印象に残ったプログラム

多くの方が出展ブースが印象に残ったようです。

設問 11) フェアに関する評価

良い、やや良いという回答は 80%となっています。

**【良い】**

- ・様々な種類の技術を扱ったブースが数多く配置されていた
- ・最先端の技術を実際に拝見することができた
- ・広い分野を一堂に会して紹介することで利便性が高い

**【やや良い】**

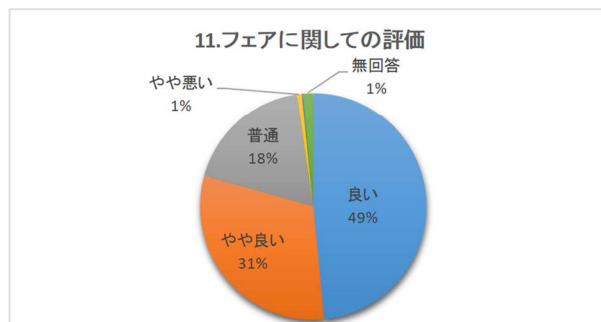
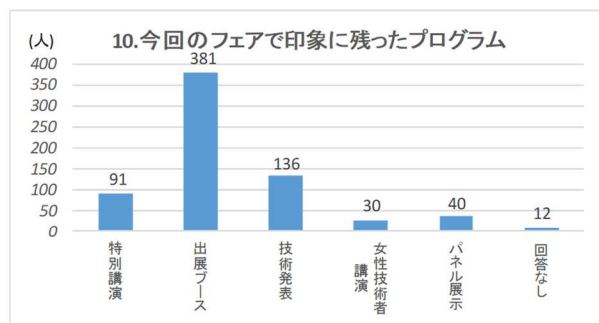
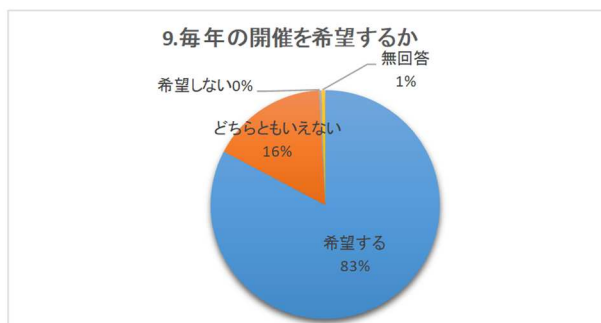
- ・多くの幅広い出展・発表がなされ有意義だった
- ・若い学生も参加して活気がある
- ・新しい物（機器・製品）に直接触れる事が出来る

**【普通】**

- ・もう少しブース数が多いと見ごたえある
- ・前年と変わり映えしない

**【やや悪い】**

- ・規模が小さい



(2) 2日目

設問 1) フェアの開催はどこで知ったか

職場内(学校内)からの案内が最も多くなりました。

設問 2) 職業

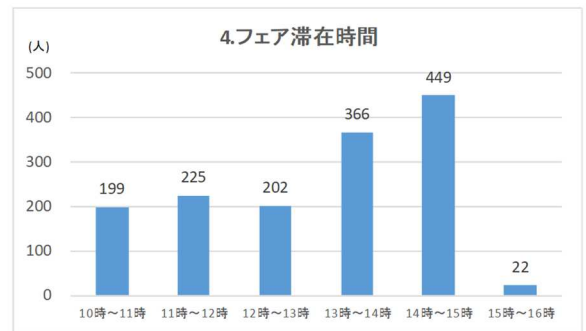
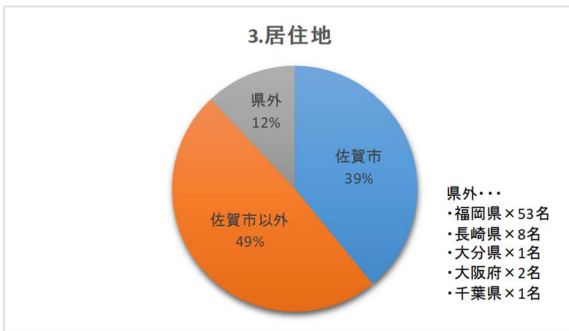
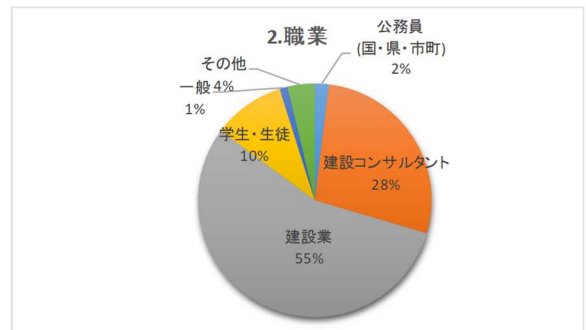
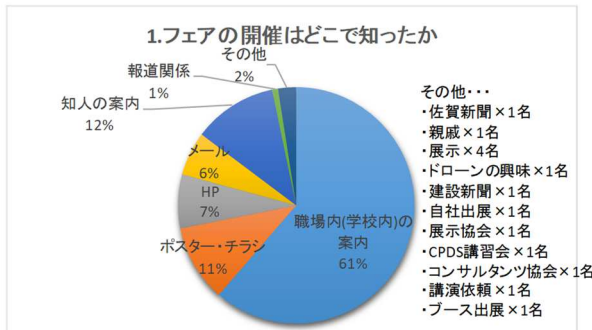
建設業が最も多く来場者の55%を占めています

設問 3) 居住地

佐賀県内から来場者が80%を超え、そのうち佐賀市以外が半数以上を占めています。

設問 4) 滞在時間

午後の来場者が多い結果となりました。



設問 5) 来場目的

情報収集が最も多く 58%、建設技術への興味が 38%となっています。

設問 6) 来場目的は達成できたか

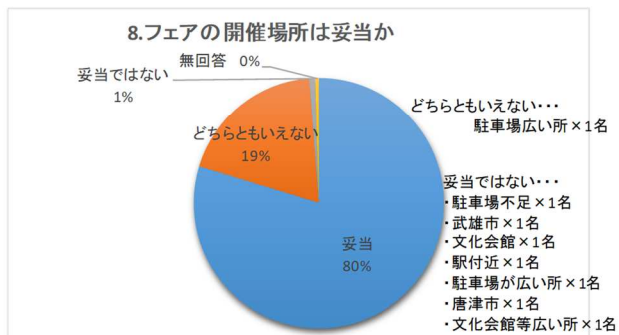
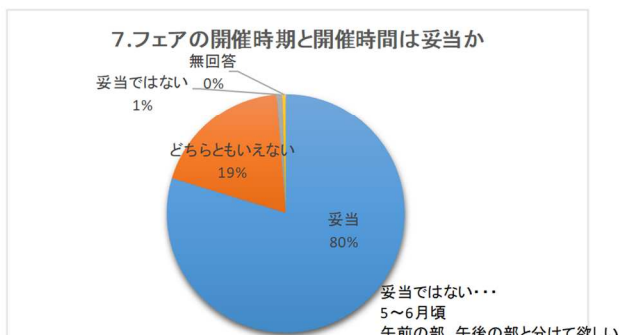
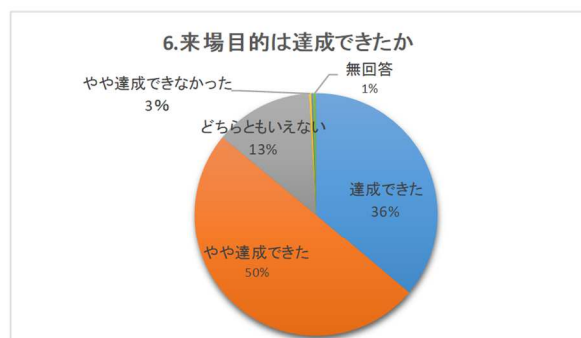
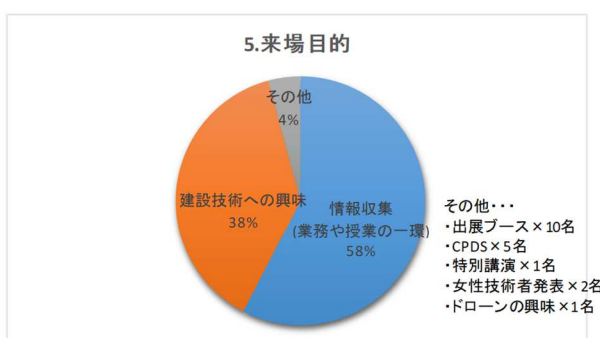
達成できたとやや達成できたを合計すると 86%となっています。

設問 7) 開催時期と開催時間は妥当か

妥当と回答した来場者は 80%となっています。

設問 8) 開催場所は妥当か

妥当という回答は 80%となっています。



設問 9) 毎年の開催を希望するか

希望するという回答は 83%となっています。

設問 10) 今回のフェアで印象に残ったプログラム

多くの方が出展ブースが印象に残ったようです。

設問 11) フェアに関する評価

良い、やや良いという回答は 80%となっています。

【良い】

- ・雰囲気がいい、情報がたくさんもらえた
- ・技術（VR等）をまじえたブースも見られ興味深く聞く事ができた
- ・案内や説明が親切で分かりやすかった

【やや良い】

- ・新技術が多かった
- ・佐賀県内でも色々な建設技術の開発等取り組んでいることが分かり参考になった
- ・最先端の知識にふれる事ができた

【普通】

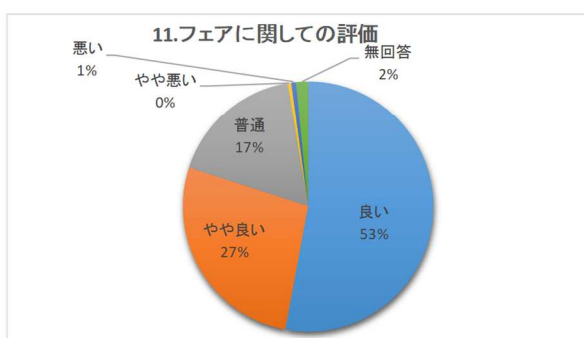
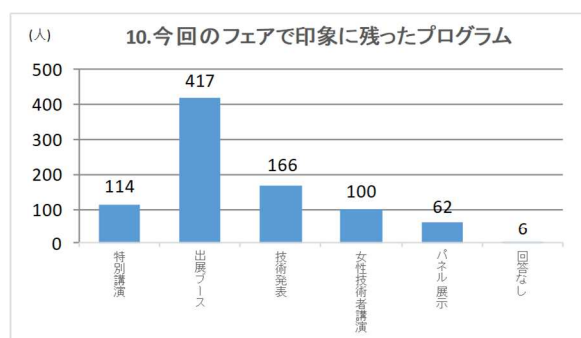
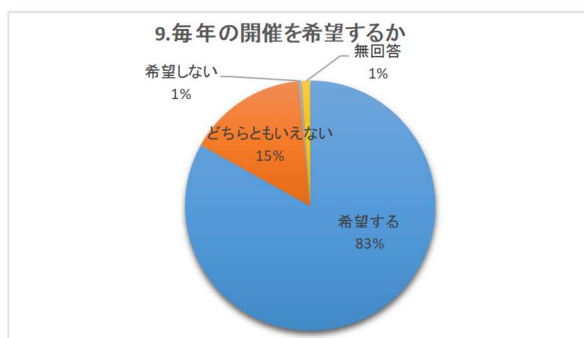
- ・すでに知っている事がらが多かった

【やや悪い】

- ・技術発表の際、周辺の雑音が大きくざわついていて環境的に良くないと思った

【悪い】

- ・講習内容が分かりにくい



### (3) 来場者からの自由意見

- ・各企業ブースがやや手狭に感じた。もう少し広くとれば大型の実機演習や動作模型等も設置できるのではと思う。
- ・屋外での展示やデモなどもあったらよかった。
- ・もっと先進的で非現実的と思われるような技術発表もあってもいいのではないか。
- ・造園工事による地震に対する石積みの補強・他等の技術について。
- ・出展ブースと講演会場が仕切りで分けてあるだけなので、出展ブースでの話が講演会場まで聞こえ聞きづらい。
- ・測量系の最新技術をすごく簡単に扱う事が出来る様なものを見たい。
- ・もっと木材に関する出展が見たい。
- ・3次元CAD・災害復旧現場の体験。
- ・ICT関連技術、緑化技術の動向。
- ・ストックマネジメント技術(水路補修技術について)
- ・学生へのアピール、土木技術者の担い手を増やす、土木の魅力。
- ・現代の現場で働く最新の重機など。
- ・それぞれの技術を融合して新しい技術を生み出す機会にして欲しい。
- ・支援機構の業務PRコーナー・パネル展示。
- ・建設関連の方への案内強化。
- ・日本の代表される施工技術の説明・紹介等。
- ・熊本城の復旧。
- ・測量をドローンでする技術。
- ・駐車場を確保して欲しい。第二駐車場が遠く分かりにくい。
- ・管工事等インフラ整備に於ける新技術等。
- ・防災技術。
- ・3D及びドローンの進歩状況。
- ・3次元データを活用したデータ分析、CADソフトウェアの展示。
- ・都心等で行っている最新技術について。
- ・VRを活用した技術。
- ・ICT活用も重要となるので、その分野も重点的に説明が欲しい。
- ・出展等の実演を見たい。
- ・コンサル業の女性の話が聞けて良かった。
- ・現機等の展示を増やして欲しい。



## 5.2 出展者アンケート

出展者を対象にアンケート調査を行いました。49社の出展者のうち、19社から回答をいただきました。

設問1) 出展の目的は

新製品等のPR、企業・団体のPR、営業活動がほぼ1/3ずつを占めました。

設問2) 出展の目的は達成できたか

やや達成できたが半数以上を占め、達成できた16%・達成できなかった0%でした。

設問3) 次回も出展したいか

出展したいは84%で、出展しない0%でした。

設問4) 技術発表をしたか

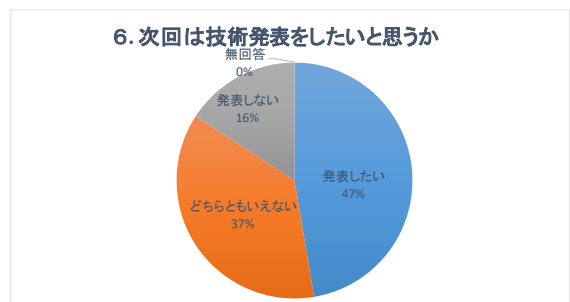
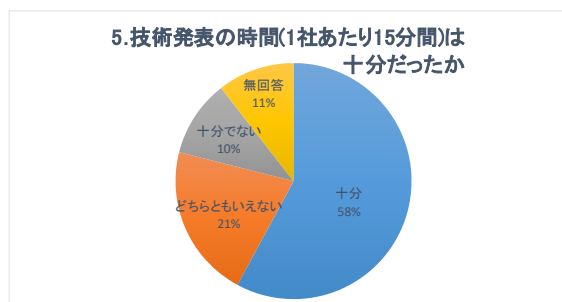
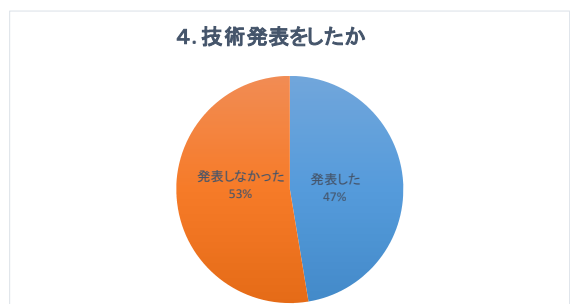
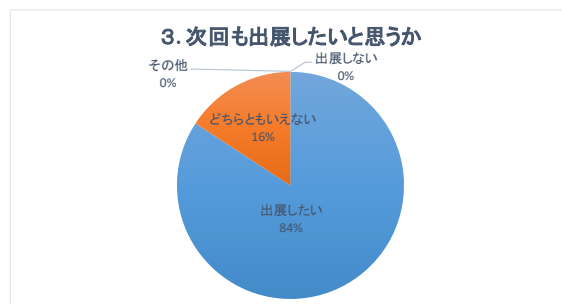
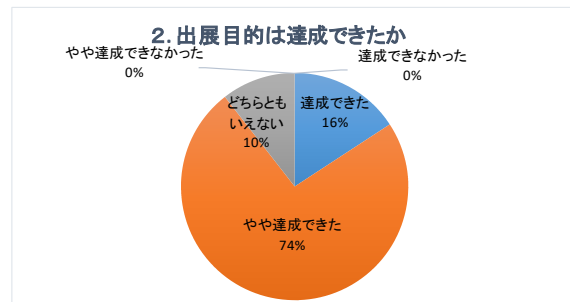
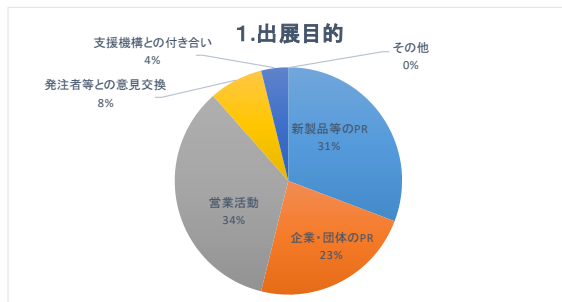
半数程度が技術発表したとの回答でした。

設問5) 技術発表の時間(1社あたり15分間)は十分か。

半数以上は十分だと回答しました。

設問6) 次回は技術発表をしたいか

次回も技術発表をしたいと答えたのは47%でした。



設問 7) 来場者数に満足したか

満足と回答したのは 32% でした

設問 8) フェア後に来場者に PR したか

4 割程度の出展者がフェア後に PR したようです。

設問 9) フェア後に来場者からの問合せはあったか

来場者から問合せがあったのは 32% でした。

設問 10) フェアへの出展は有効だと感じたか

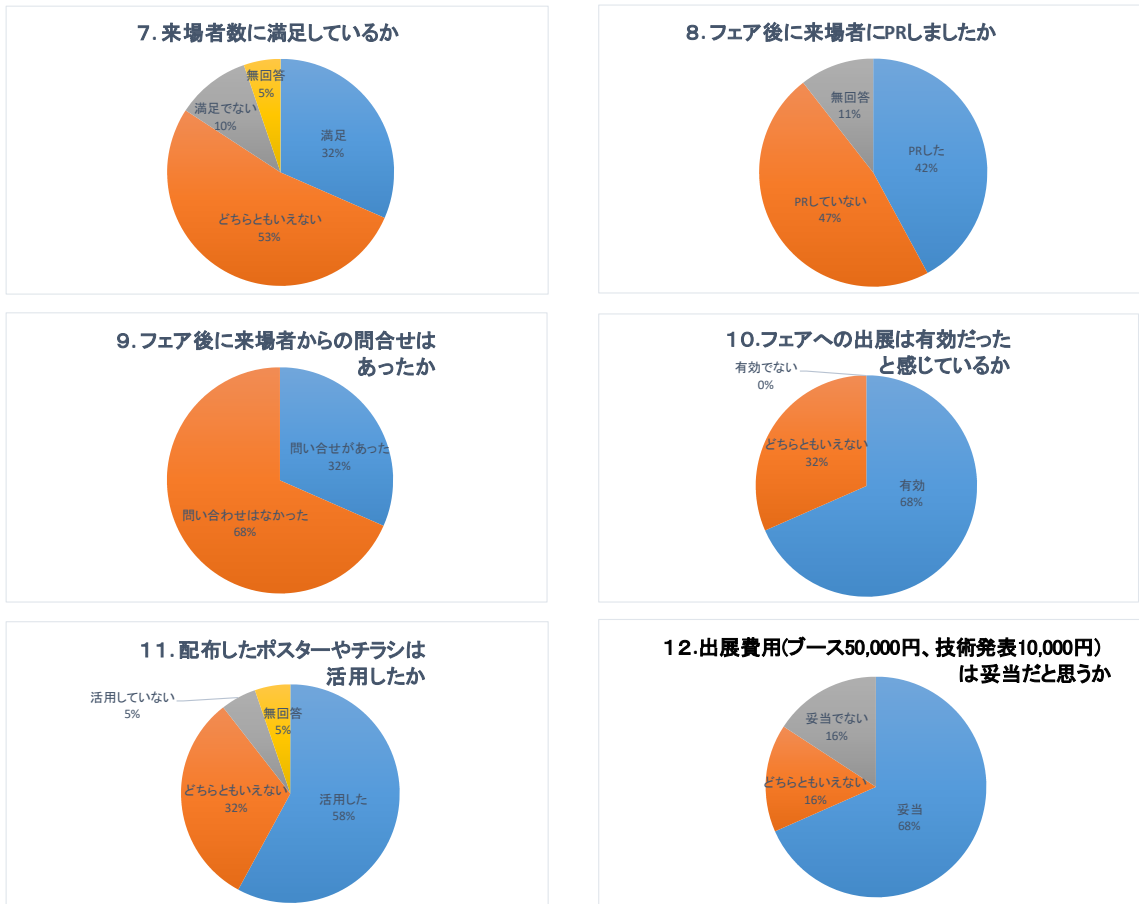
半数以上は出展が有効だったと感じているようです。

設問 11) 配布したポスターやチラシは活用したか

ポスターやチラシを活用したのは 58% でした。

設問 12) 出展費用 (ブース 50,000 円、技術発表 10,000 円) は妥当か

妥当と感じた出展者は 68% でした。



設問 13) 出展ブースの配置は適当か

8 割程度は適当だという結果になりました。

設問 14) 意見交換スペースは必要か

必要だと感じたのは 68%でした。

設問 15) フェアが掲げる目的は達成したと思うか

達成したとやや達成したという回答を合計すると 84%となりました。

設問 16) フェアの開催時期と開催時間は妥当か

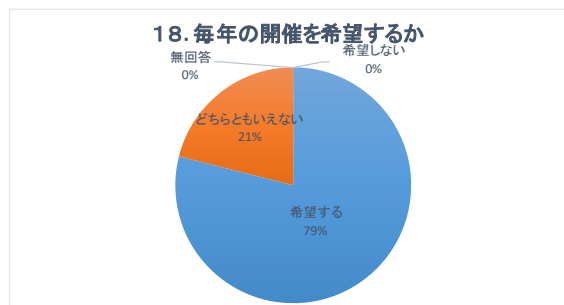
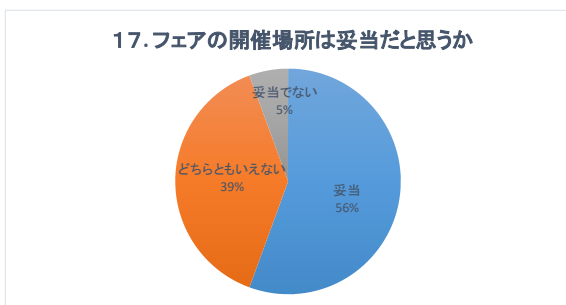
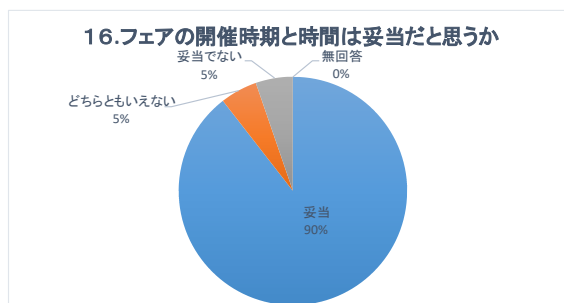
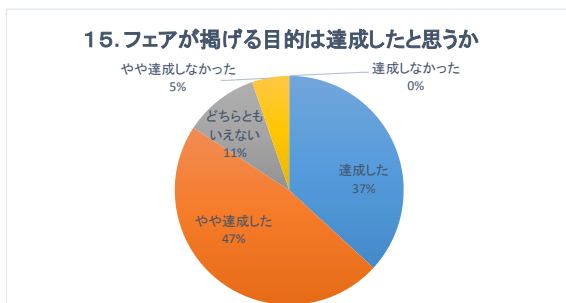
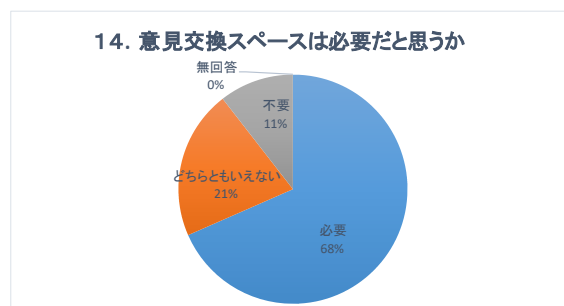
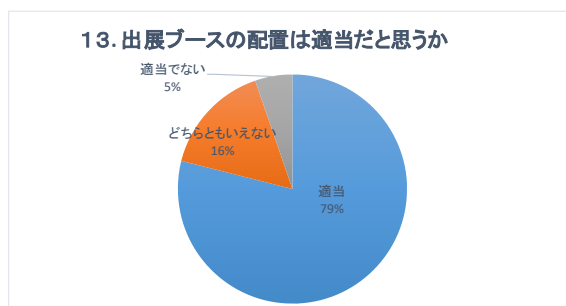
妥当という回答は 90%でした。

設問 17) フェアの開催場所は妥当か

妥当と感じた出展者は 56%いたようです。

設問 18) 毎年の開催を希望するか

希望すると回答した方が 79%でした。



#### 【出展者からの自由意見】

- ・新卒の学生さんが建設業離れの現状がある中、新技術を活用した施工などが知っていただければと考えます。佐賀県内の高校、専門学校、大学の参加を今後も期待します。
- ・現会場ではほとんどがパネル等の展示物になる為、実物模型などの持ち込みによるPRを行いたいと感じた。駐車場での実物を使ってのデモや実証試験等が行えればもっとPRになるのではないかと思われる。
- ・来場者へ新しい技術や工法を深く知っていただき、積極的に活用いただける様なフェアであってほしい。
- ・建築分野の出展及び建築関係者の来場を増やして欲しい。(土木が多かった為)
- ・思った以上に学生が多かった。土木建設を専門とした学生であるが、基礎的な事も習熟しておらず、展示企業としては、社会人用と学生用の2種類の展示をしなくてはならないと思った。地区ルート活動をするような学生用コーナーを同じ会場に別に追加してもよいのではないかと思った。

## 6. まとめ

当機構は、地方公共団体の建設行政との連携・協働を図り、社会資本の整備及び公共施設の維持管理に関する各種の技術支援事業を通じて、県民の安全で安心な生活の実現に寄与することを目的としています。

当フェアは、公益目的事業の「技術力向上のための技術情報発信事業」における「建設技術情報啓発事業」に位置付けており、日々進化する建設技術の情報収集発信・利活用が必要不可欠であるという観点から建設技術の理解を深めるための取り組みの一環として実施しました。

今回が第 4 回目の開催でしたがこれまでで最多の来場者となりました。来場者ならびに出展者に対して実施しましたアンケート結果を見ると、多くの方にご満足いただいた一方、当日対応や出展内容などへのご意見・ご要望が多数あり、今後の開催にあたっての課題も明らかになりました。今後はそれらの課題を改善しながら、継続開催を希望する声も多かったことから充実したフェアとなるよう努めてまいります。

最後に、当フェアを開催するにあたり多大なご協力をいただきましたご講演者の皆様、佐賀県をはじめとした共催者ならびに後援の方々、ならびに関係各位に厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

(以上)